

別記様式第6号

生産体制・技術確立支援事業（新品種・新技術の確立支援事業）に関する事業評価票

事業実施主体名	新品種・新技術等 の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
				基準年 (計画策定時) 平成29年	目標年 令和2年		
茨城県	稲WCS新品種（つきすずか）の特性把握と高品質多収栽培技術の実証・普及	平成30年度	生育、収量、品質、病害虫（縞葉枯病抵抗性）等を明らかにし、栽培マニュアルを作成して生産者に配布・普及を図る。	0	品質の高い稲WCS「つきすずか」の栽培マニュアルを作成し、生産者へ配布・普及を図ることにより、栽培面積はH29年0haからR2年度64haへ拡大した。	・生産者、実需者及び関係機関と現地検討会、意見交換会を開催 ・施肥栽培試験を実施し、施肥基準値を策定 ・専門技術指導員と連携して、稲WCSの品質評価 ・稲WCS「つきすずか」の栽培マニュアルを作成・普及	成果目標は達成している。
茨城県	グラジオラス「常陸はつこい」の抑制作型における安定生産技術の確立	平成30年度	実需者ニーズの高い10月以降に出荷するのグラジオラス「常陸はつこい」の安定生産技術を確立し普及拡大を図る。	0	抑制作型のグラジオラス「常陸はつこい」の栽培マニュアルを作成し、生産者に周知を図り、950本が出荷された（R2年10～11月）。	・県外産地のグラジオラス生産状況調査の実施 ・「常陸はつこい」10月出荷の市場調査の実施 ・「常陸はつこい」現地実証ほにおける栽培データの把握 ・グラジオラス抑制裁培技術の安定生産技術の検討及び栽培マニュアルの作成・普及	成果目標は達成している。